

沿岸環境における水色リモートセンシングに関するシンポジウム

水の色を語り尽くそう！ —マリモのすむ水からペンギンのすむ水まで

わたし達の身近にある海、湖、川といった水域は、人々の憩いの場となっています。しかし、ひとたびバランスをくずすと「赤潮」や「アオコ」などの環境問題を生じてしまう危険もあります。このような水域の「きれいさ」や「魚のえさの豊富さ」を知る手がかりとして、「水の色」があります。このシンポジウムでは空から「水の色」をはかる専門家に、日本でも有数の観光地であるマリモのすむ阿寒湖やペンギンのすむ南極、そして広島でも身近な瀬戸内海等の「水の色」について、リレー形式で語っていただきます。この機会に、知られざる「水の色」の世界を、ぜひ、たくさんの皆様に知っていただこうと思っています。

日時： 2016年9月24日（土）13：00～16：00 受付12：30開始

場所： 広島大学学士会館（広島大学東広島キャンパス内）
（〒739-0046 広島県東広島市鏡山1丁目2-2）

対象： 一般（定員60名）

参加費： 無料（参加者には講演要旨集を配布予定）



講演内容：

- 13：00-13：05 開会の挨拶
- 13：05-13：45 基調講演：尾山洋一（釧路市教育委員会マリモ研究室）
「マリモのすむ水の色」
- 13：45-14：15 一般講演(1)：虎谷充浩（東海大学）「空から見た海の色」
- 14：15-14：45 一般講演(2)：石坂丞二（名古屋大学）「赤色になる海の謎」

- 14：45-14：55 休憩

- 14：55-15：25 一般講演(3)：作野裕司（広島大学）「瀬戸内海の色と環境」
- 15：25-15：55 一般講演(4)：小林 拓（山梨大学）「ペンギンがすむ水の色」
- 15：55-16：00 閉会の挨拶

参加申し込み： 不用（当日、現地にお越しください）、お問い合わせは、以下のE-mailまで
お願いします。sakuno@hiroshima-u.ac.jp（作野まで）

共催： 日本リモートセンシング学会海洋・湖沼リモートセンシング研究会、
湖沼リモートセンシングコミュニティ

後援： 広島大学

※なお、本シンポジウムは日本海洋学会の「青い海助成事業」の助成を受けております。